
ボクの普通の物語

夢田之葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボクの普通の物語

【Nコード】

N4680Y

【作者名】

夢田之葉

【あらすじ】

少年は普通を嫌っていた。

『普通でありたくない』と願い続けて、あらゆる普通と違うものを目指した。

しかし、いざ『普通じゃない自分』になった時に気付く。

普通になりたい。

これは、そんな、自分の感情に踊らされ続けた
普通の人間の、普通の過ちの物語である。

始まりは普通に自己紹介

「始まり」

ボクは普通ではない。

だからといって、別に特殊な能力を持っているわけでも、何かにおいて優れた才能もない。

アニメやゲームの主人公でもないんだから…

そんなファンタジーな理由で普通ではないのならば、きっとボクは、空から女の子が降ってきたり、学校で突然の転校生！そして、ゆくゆくは…みたいな展開を心待ちにして生きていただろう。

いや、スポーツ漫画的に考えたら、突然の勧誘からのエースへ上昇とかか。

もしくは、ちよつと悲劇的なストーリー展開で、能力を妬まれたり、恐れられて、世間から拒絶や隔離をされたとしても、きつと近いうちに、自分が必要になる事件が起きて、それをきっかけにみんなのヒーローになれるのだろう。

きつと、自分の将来が明るく輝かしいものだと思じて生きていくことが出来たのだろう。

…少なくとも、こんな風に、劣等感で押し潰されて、憂鬱な気持ちになっていない事だけは、確実に言える。

普通への拒絶（前置き編）

「1」

最初に言っておくが、別に小さい頃から、自分が【普通ではない】と感じていたわけではない。

それどころか最初は、普通かどうかすら気にしたことがなかったはずだ…

ただ、当たり前に、いつも通りの生活を繰り返していくだけ…なんとなく生きているだけの人間だった。

【なんとなく生きているだけ】という言葉は、聞こえは悪いが、決してよくないものではなかった。

むしろ、今、こうして振り返って思い返すと

あの頃が、ボクの人生で最も幸せな時期だった気がする。

当たり前を当たり前に受け入れられる。
そんな普通の事が、今のボクには難しい。

どうしても、これが当たり前なのかを考えてしまう。
それでは、当たり前に受け入れられるはずがない。

「考えるな。」と思うから考えてしまつ。

わかつてはいるんだ。

でも、無理なものは無理

みんなだつて、「今からパンティーの事を考えるな」と言われれば
パンティーで頭がいっぱいになってしまつたろう？

ちなみに、普通になるための一環として、パンティーが頭に浮かば
ない方法を考えた事がある。

これが出来れば、もう普通についてなんて頭に浮かぶことはない
と考えて：

その結論は、「パンティーが駄目ならスクール水着を考えればいい」
という方法なのだが

こっちの考えが出来る人間は、どのみち普通ではないと思ひボツに
なりました。

誰か最も普通に、普通というものを考えない方法を知つてる人はい
ないかな。

おっと、話がそれていました。

それでは、気を取り直して本題に移ろう。

今から書く話は、ボクが普通というものを失った原因

…普通というものを気にし始めてしまった、中学生の頃の話だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4680y/>

ボクの普通の物語

2011年11月19日20時28分発行